

まちの声



今回の「まちの声」は、ホクレン包材(株)勤務45年、第二工場技術・匠で貢献の野崎輝悦さん(73)から、お話を聞きました。(1区8町内)



Q 「議会だより」読んでの感想を伺います。

A 「議会だより」は、時々読んでいます。議員さんの、いろんな角度からの一般質問や活動が議会だよりを通じて知る事ができました。特に議案審議内容の列挙は解りやすく一望でき関心を持って読みます。

議会の様子がユーチューブ配信されていて、そのことを知りました。議会が身近なものになるようスマホに挑戦したいと思います。

Q 日頃感じておられる町のことに、ご意見はありませんか？

A 妹背牛町にはイベントが沢山ありますが、遊歩市・各祭り・夏のビールパーティなどコロナ影響前のように集まる事ができれば良いですね。

リニューアルオープン『妹背牛温泉ペペル』が町内外から多くの客に立ち寄って頂けるよう話題作りの工夫があるといいと思います。例えば、浴場の天井や壁にイメージ映像を映す。また、夏にキャンプ場としてテントが張れる場所や炊事場を作る。ドックランを作るなどどうでしょうか。ペペル温泉の来客が町内商店の利用、施設利用に繋がると思います。

Q 今後の妹背牛町に要望はありますか

A 長い間そのままになっている元妹背牛商業高校の跡地はその後どのようにされているのか知りたいです。

また、中古住宅の売買など様々な支援が活用され良いと思います。他に移住定住対策や妹背牛の人口減少への対策をどのように考えているか気になります。

日頃、町内の立派な企業さんには誇り感謝敬服しています。妹背牛町の発展のため、若者の働き場所増に、応援頂ければ幸いです。

Q 妹背牛町の活気ある未来へ向け一言

A 現在の町の人口は2600人で年々減少しています。商店、農業、工業等勤務の方、若者や高齢者をはじめ、皆さんが住みやすい、住んでいてよかったというまちづくりが大切かと思っています。農・商業後継者育成を町民のみならずと議会で取りあげていければと思います。

編集後記

長かった冬も終わり、外仕事が始まる季節になったことと思われませんが、まだまだ気温が不安定ですので健康には充分気を付けてください。

一年間の大規模改修も終了し、多くの町民の皆様が待ち望んでおりました、妹背牛温泉ペペルであります。サウナを目玉としてリニューアルオープンしました。左右のスペースを交換したりいろいろ工夫がされております。機会がありましたら是非ともご利用をお願いいたします。

また、昨年度のふるさと納税においては過去最高の3億円を突破いたしました。今後の自己財源として有効に活用されることと期待するところです。

今年度の予算も決定しました。決して楽な予算ではありませんが、移住定住対策をはじめ妊娠、出産支援の新設、新築、中古住宅購入支援の拡充など子育て、移住定住対策に積極的に取り組まれております。

今後も町民の皆様の声をお聞かせいただきながら、議会活動を進めてまいりたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

広報特別委員会

- 委員長 中山 義博
- 副委員長 成瀬 勝幸
- 委員 鈴木 正彦